

参考文献・注釈の書き方

小沢 道紀

参考文献の例示の仕方

* 日本語文献

俵実男[1987]『専門能力の育成と活用』日本能率協会。

ロバート タッカー[1997]井関利明訳『価値革命への挑戦』TBS ブリタニカ。

Tucker, Robert B., [1995] *Win The Value Revolution*, Career Press.

* 英語文献

Pfeffer, Jeffrey, [1994] *Competitive Advantage Through People*, Harvard Business School Press.

Porter, Michael E. [1980] *Competitive Strategy* The Free Press. マイケル
ポーター[1995]『新訂 競争の戦略』ダイヤモンド社。

* 日本語論文

浪江巖[2000]「雇用形態の多様化と世紀雇用の変容」 原田實・安井恒則・黒田
兼一編著『新・日本的経営と労務管理』ミネルヴァ書房 PP.9-34。

* 英語論文

Reigel, Carl D., Melissa Dallas, [1999] 'Hospitality and Tourism: Careers in
the World's Largest Industry' *A Guide to College Programs in Culinary Arts,
Hospitality, and Tourism (6th ed.)* Wiley & Sons.

* 新聞記事

「スターバックスでアルコール販売も 定款を変更」朝日新聞朝刊 2003 年 6 月
25 日第 2 面

* 雑誌記事

中村裕・箕島清人[2000]「対談・ノウハウがいっぱい詰まったプロ集団が、ホテルを救う」『月刊ホテル旅館 2000 年 9 月号』PP.74-78。

Kanter, Rosabeth M., [1991] 'Service Quality: You Get What You Pay For'
Harvard Business Review, 9・10 月号, pp.8-9.

注釈の付け方

ワードの「挿入」「脚注」を使う

論文が長いときは下に入れる

短いときは、最終ページに入れる

例

一方、日本の研究におけるホスピタリティの定義は、日本の多くの研究において引用されている服部¹によれば、「人類が生命の尊厳を前提とした創造的進化を遂げるための、個々の共同体もしくは国家の絆を超えた広い社会における多元的競争関係を成立させる相互容認、相互理解、相互信頼、相互扶助、相互依存、相互発展の六つの相互性の原理を基盤とした基本的社会倫理である。」²と定義している。

歴史的経過³による見解を取っているのは、海外において、非常に多くの研究者であるが、その中には例えばテアー⁴があげられよう。その著書の中では、ホスピタリティ産業を次のように述べている。

¹ 引用された文献の一つとして、山上[1999]があげられる。ここにおいて山上は、ホスピタリティの概念を服部[1994]のものをういて、一章をその解説にあてている。

² 服部[1996], p.69.

³ 多くのホスピタリティ産業関係の論文では、ホスピタリティ産業の定義が、既存の明白なものとして扱われている。その点をローマ時代よりの歴史的経過面も考慮し、歴史的経過面におけるアプローチとして統一した。

⁴ Teare [1994], pp.5-6.